

浜の活力再生プラン
令和5年度～9年度
第2期

1 地域水産業再生委員会

組織名	蒲郡地区地域水産業再生委員会
代表者名	尾崎 久儀（蒲郡漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の 構成員	蒲郡漁業協同組合、蒲郡市、愛知県（東三河農林水産事務所 水産課）
オブザーバー	愛知県（農業水産局水産課）、愛知県漁業協同組合連合会

対象となる
地域の範囲
及び漁業の
種類

愛知県蒲郡市（蒲郡漁協の地区）								
100人（正組合員）				令和3年11月現在（蒲郡市調べ）				
支	漁業の種類（経営体数）							
所	沖合底	小型底	船びき	小型定	はえ縄	採貝	その他	総数
名	びき網	びき網	網	置網				
西	2	13	1	2		1	16	35
浦								
形	2	8			1		1	12
原								
竹						7		7
島								

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

蒲郡地区の水産業は、小型機船底びき網漁業を中心に沖合底びき網漁業、船びき網漁業、刺網漁業、採貝漁業など様々な漁業が営まれており、メヒカリ、ニギス、アカザエビなどの深海魚やイワシ類、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、アサリ等二枚貝類などを中心に、様々な水産物が水揚げされる地域である。また、地区前面に広がる干潟域では潮干狩りが盛んであり、多くの観光客が訪れている。

令和2年の漁業生産量は約3,506t、生産額は約11億9千万円であり、小型機船底びき網漁業と沖合底びき網漁業で市内生産額の8割以上を占め、内湾性の魚種から深海魚まで特色ある水産物が多く水揚げされている。近年は、海水温の上

昇や海域における栄養塩類減少等、漁場環境の変化に伴う資源の減少、燃料及び資材の高騰の影響が表面化するとともに、就業者の高齢化や後継者不足の問題が深刻になっている。

また、アサリ資源の減少に伴い、潮干狩り場の入場者数も減少しているため、漁協の主な収入源の一つである潮干狩り収入も大幅に悪化している。

さらに、市内及びその周辺における造船所の廃業が相次いだことから、漁船上架施設が不足し、漁船の定期的な点検整備や機器故障時の修理、省エネ等を目的とした船底塗装の実施等に支障が生じている。

このように、漁業経営を取り巻く状況は厳しく、漁業者は将来への不安感が増幅している状況になっている。

このため、漁獲資源の安定増大と生産効率化、漁獲物の付加価値向上及び流通販売促進、省エネによるコスト削減等による漁業収益の向上、漁獲物の品質保持・向上を図るための製氷・貯氷施設の維持管理及び漁船の適正な維持・修繕を図るための上架施設の整備が、漁業経営を安定させ、漁村・漁業の活性化を図るための最重要課題となっている。

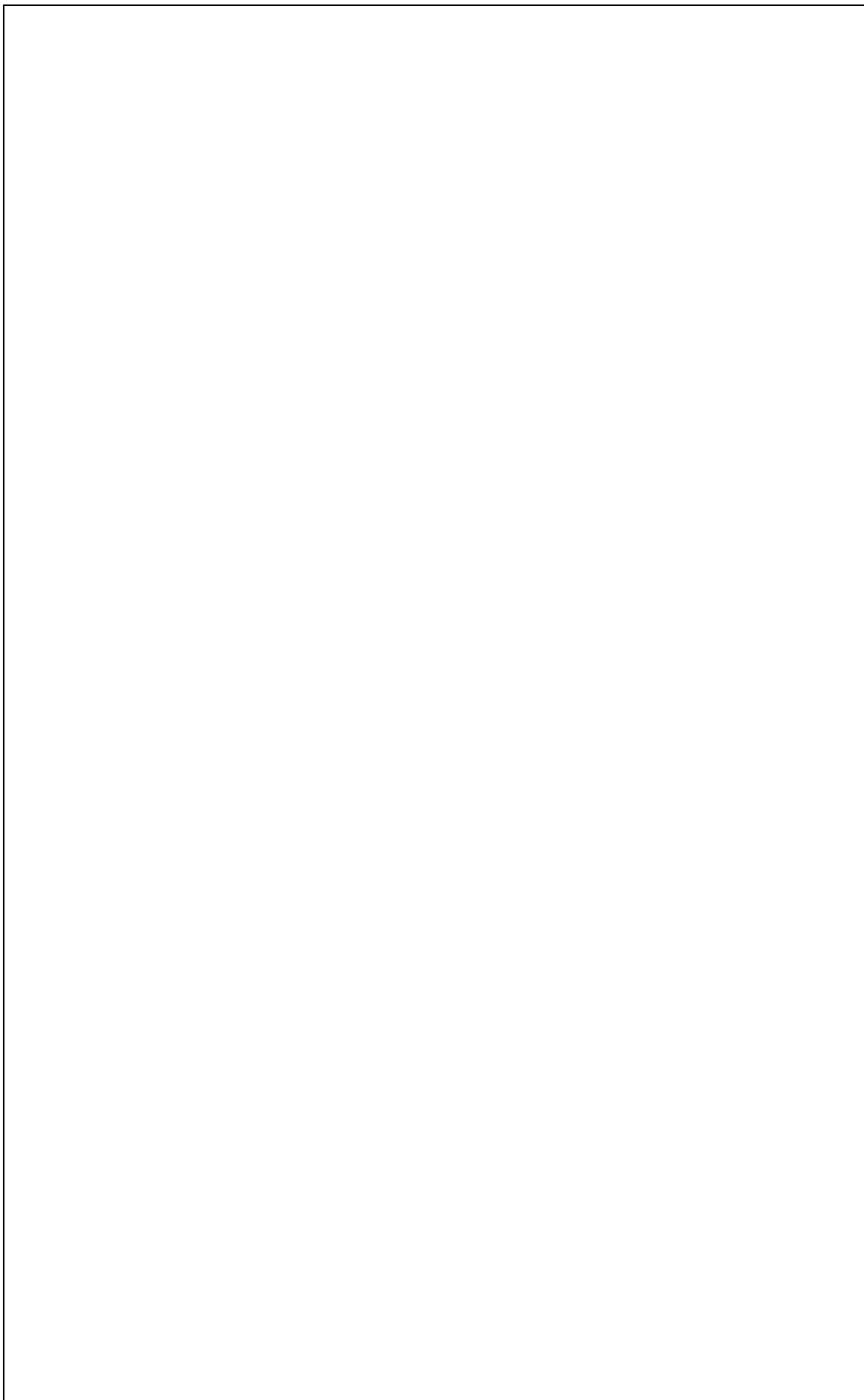
(2) その他の関連する現状等

蒲郡市は観光地として有名であり、三河湾沿岸に広がる干潟域や蒲郡沖の三河大島における潮干狩りを始め、地元で水揚げされた様々な魚介類を鑑賞できる竹島水族館、地元水産物を使った食事の提供や水産物の販売を行うラグーナテンボス内のフェスティバルマーケットなど水産に関連する観光施設が複数存在する。しかし、観光者数は平成30年の679万人に対し令和2年は314万人と大きく減少していることから、集客力を高めるため、沿岸の二枚貝から沖合の深海魚まで多種多様な水産物が水揚げされる蒲郡地区の特色を活かしたPR活動が必要である。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

●漁業収入向上のための取組

【Ⅰ 生産量を増やす取組】

・小型機船底びき網漁業及び機船船びき網漁業

資源管理計画に基づく定期休漁や操業期間制限を着実に実行し、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、イワシ類等の資源の維持、増大を図る。資源管理計画は、令和5年度以降に資源管理協定に移行して取組を実践する。また、県の栽培漁業対象魚種であるクルマエビ、ガザミ、ナマコの種苗放流に引き続き取り組む。併せて、地先漁場におけるアマモ場造成及び保全に引き続き取り組み、タイ類、カレイ類、エビ・カニ類、イカ類等の資源の増大を図る。これらの取り組みにより、漁獲量の増加を目指す。

・採貝漁業

アサリや、近年資源が増えアサリを補完する魚種として期待するハマグリなどの二枚貝類については、漁場耕耘や害敵生物の駆除等による漁場環境の整備、豊川河口で発生するアサリ稚貝の移植放流等を実施する。以上によりアサリ等二枚貝類資源の維持・増大を図るとともに、観光潮干狩場の集客力の向上を図る。

【Ⅱ 付加価値向上を図る取組】

・沖合底びき網漁業

前期プランにおいて、「もうかる漁業創設支援事業」で実証された海水殺菌装置及びシルクアイス装置の効果を普及するとともに、他漁船への導入を検討、推進することにより、生食用の評価が高まった、メヒカリ、ニギス、アカムツ、アカザエビ等の漁獲物の高鮮度化を図る。また、出漁期間を短縮する等により漁獲物を漁船内に留め置く期間を短くして、高鮮度で市場に送り届ける方法を検討する。

海水冷却措置を活用したアカザエビの地元高級料理店とのタイアップによる付加価値向上については、アフターコロナの需要増を見込み取り組む。

・小型底びき網漁業

漁獲物の鮮度保持を目的とした神経締め等の実施及びパレットを用いた活魚出荷を導入し付加価値向上を図る。

【Ⅲ 売り先・売り方を工夫する取組】

・「蒲郡メヒカリ」については、ブランド化に向けて、アフターコロナで再開が進む地域イベントに出展して、キャラクター（「ぴか丸君」）やのぼり旗を使ってPRを行う。また中止している漁協主催のイベント再開を検討し、PRの機会を増やす。以上により市内だけでなく、名古屋市などの都市部における蒲郡産深海魚の認知度を高め、販路拡大を図る。

・前期プランで学校給食に採用したメヒカリだけでなく、地区内で水揚げされるニギス、カレイ類、エビ・カニ類、アサリ等について、地元飲食店における利用拡大や学校給食への導入に向けた普及活動を行い、魚価向上を目指す。

・潮干狩り客から、身が大粒で柔らかいと評価が高い「竹島アサリ」について、アフターコロナの潮干狩り客増を見込んで、市や蒲郡漁協のHPで紹介し認知度向上に取り組む。

・資源量が比較的多いが、利用度が低い深海魚等の未利用魚について、栄養価や調理法に関する情報を整理し、紹介パンフレットを作成して市内に設置して広報する。また、ホームページ等に掲載して名古屋圏などの都市部での認知度を高め、販路拡大を図る。

【Ⅳ 製氷・貯氷施設の維持・管理に関する取組】

令和2年度に形原漁港に整備した製氷・貯氷施設について、適切な運用及び維持管理を行うことにより、引き続き漁獲物の品質保持・向上や流通機能の強化を図るとともに、労務費及び燃料使用量の削減に取り組む。

●漁業コスト削減のための取組

【Ⅴ 省燃油活動・省エネ機器導入等に関する取組】

・燃油価格が高い状況が続いているため、競争力強化機器等導入緊急対策事業による省エネ機器の導入や、市の補助事業である船底塗装対策事業の活用により、燃油コストの削減に引き続き取り組む。

・漁船上架施設の不足を解消するため、県の補助事業等を活用し新たな上架施設を整備し、円滑な船底塗装を実施し、燃油コストの削減に取り組む。

（３）資源管理に係る取組

愛知県漁業調整規則第11条（漁船の総トン数及び馬力数の制限）

愛知県漁業調整規則第37条（禁止期間、全長等の制限、禁止区域）

○資源管理計画（順次、協定に移行予定）

愛知県ぱっち網漁業者組合イカナゴ（操業期間制限）

愛知県ぱっち網漁業者組合イワシ類（定期休漁）

蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網（えびけた網）漁業（定期休漁）

蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網（えびけた網）漁業（定期休漁）

蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網（渥美外海板びき網及び改良備前網）漁業（休漁）

蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網（渥美外海板びき網及び改良備前網）漁業（休漁）

（４）具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

１年目（令和５年度）所得向上率（基準年比）３．６０％

漁業収入向上のための取組	【Ⅰ．生産量を増やす取組】 ①小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者は、資源管理計画に基づき、定期休漁や操業期間制限を実施し、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、イワシ類等の資源の維持、増大を図る。 ②漁協は、県や市と協力して所属する小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者の資源管理協定の策定に向けて指導し、小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者は資源管理協定への移行を進める。 ③漁協は、県や市と協力して三河湾や地先漁場において、クルマエビ、ガザミ、ナマコの種苗放流を行い、資源の維持増大を図る。 ④漁協及び市等で構成する蒲郡市漁場環境保全協議会（以下、「協議会」という。）は、魚介類の産卵場、成育場となるアマモ場の活用及び保全に取り組み、タイ類、カレイ類、エビ・カニ類、イカ類等の資源の増大や漁場環境の改善を図る。 ⑤協議会は、害敵生物の駆除活動や被覆網等のアサリ保護対策に取り組むことにより、二枚貝類資源の維持・増大を図る。 ⑥協議会は、アサリ等二枚貝類漁場の耕耘等を行い、稚貝の着底促進、生育環境の改善を図り、資源の増大、漁獲量の安定を図る。 ⑦漁協及び採貝漁業者は、豊川河口産アサリ稚貝を採捕し、地区内の漁場に放流することにより、アサリ資源の増大を図る。
---------------------	---

	【Ⅱ 付加価値向上を図る取組】 ①海水殺菌装置及びシルクアイス装置を未導入の、実証船以外の沖合底びき網漁業者は、装置の導入について検討する。漁協は機器導入の増加を図る。また、出漁期間を短縮したり、陸路を利用するなどにより漁獲物（メヒカリ、ニギス、アカムツ、アカザエビ等）の高鮮度化を図り、魚価向上に取り組む。 ②沖合底びき網漁業者は、海水冷却装置を活用した活アカザエビについて、アフターコロナの状況に合わせて、タイアップの目的や地元高級料理店とのタイアップ先などを再検討する。 ③漁協は鮮度保持のための神経締め講習会を開催し、小型機船底びき網漁業者は技術の習得に努め、パレットを用いた活魚出荷の導入を検討する。 【Ⅲ 売り先・売り方を工夫する取組】 ①漁協は、県と協力して定期的にアサリの貝毒検査を実施し、安全安心なアサリを安定供給することで魚価の維持、向上を図る。 ②漁協は、「蒲郡メヒカリ」のブランド力を高めるため、市内で行われている農林水産まつりで「蒲郡メヒカリ」を販売し、周知活動を行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止している漁協主催の青空市等のイベント再開を検討する。 ③市は、市内の学校給食において、地産地消活動の一環としてメヒカリ、ニギス等の深海魚を使った献立を提供し、需要拡大を図る。 ④漁協は、イベント等において、地元で水揚げされた漁獲物を活用した料理を提供する等により、地元産魚介類の魚食普及を図る。 ⑤漁協は、「竹島アサリ」の名称を用いた商品や販売方法、販売先について検討する。また、「竹島アサリ」について市とともに市や漁協のHPで紹介して認知度向上に取り組む。 ⑥漁協は、比較的漁獲があり安価で取引される深海魚等について市場ニーズを調査し、販売方法、販売先について検討する。また未利用魚に関する栄養価や調理法に関する情報を収集整理する。 【Ⅳ 製氷・貯氷施設に関する取組】
--	---

	①漁協は、令和2年度に整備した製氷・貯氷施設を適切に運用・維持管理し、操業機会の確保及び魚価向上のため地域の漁業者に対して必要な給氷を行う。
漁業コスト削減のための取組	【V 省燃油活動・省エネ機器導入等に関する取組】 ①全ての漁業者は、船底塗装対策事業により船底清掃、船底塗装等を定期的に行い、使用する漁具を軽量化することで燃費効率を高め燃油コストの削減を図る。 ②漁業者は、漁業近代化資金や競争力強化型機器等導入緊急対策事業等を活用して、省力化や省エネ機器の導入し、漁業コストの削減を図る。 ③漁協は、上架施設の整備を行うために、設置費用や場所、利用漁船数等を勘案した適正な施設の規模算出など、施設整備に向けて検討する。
活用する支援措置等	・水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ-④、⑤、⑥） ・愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ-⑦） ・水産まつり委託料（蒲郡市）（Ⅲ-②） ・水産物地産地消事業委託料（蒲郡市）（Ⅲ-③） ・船底塗装推進事業補助金（蒲郡市）（Ⅴ-①） ・漁業近代化資金（愛知県）（Ⅴ-②） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（Ⅴ-②） ・漁業生産力強化総合対策事業（愛知県）（Ⅴ-③）

2年目（令和6年度）所得向上率（基準年比）5.10%

漁業収入向上のための取組	【Ⅰ. 生産量を増やす取組】 ①小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者は、資源管理協定の取組を実践し、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、イワシ類等の資源の維持、増大を図る。 ②漁協は、県や市と協力して所属する小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者の資源管理協定の取組を指導する。 ③漁協は、県や市と協力して三河湾や地先漁場において、クルマエビ、ガザミ、ナマコの種苗放流を行い、資源の維持増大を図る。 ④協議会は、魚介類の産卵場、成育場となるアマモ場の造成及び保全に取り組み、タイ類、カレイ類、エビ・カニ類、イカ類の水産資源の増大や漁場環境の改善を図る。 ⑤協議会は、害敵生物の駆除活動や被覆網等のアサリ保護対策に取り組むことにより、二枚貝類資源の維持・増大を図る。
--------------	---

	⑥協議会は、アサリ等二枚貝類漁場の耕耘等を行い、稚貝の着底促進、生育環境の改善を図り、資源の増大、漁獲量の安定を図る。 ⑦漁協及び採貝漁業者は、豊川河口産アサリ稚貝を採捕し、地区内の漁場に放流することにより、アサリ資源の増大を図る。 【Ⅱ 付加価値向上を図る取組】 ① 実証船以外の、海水殺菌装置及びシルクアイス装置を未導入の沖合底びき網漁業者は、装置の導入について引き続き検討する。漁協は機器導入の増加を図る。また、出漁期間を短縮したり、陸路を利用するなどにより漁獲物（メヒカリ、ニギス、アカムツ、アカザエビ等）の高鮮度化を図り、魚価向上に取り組む。 ②沖合底びき網漁業者は、海水冷却装置を活用した活アカザエビについて、地元高級料理店とのタイアップなど知名度向上に向けた企画を検討する。 ③漁協は、鮮度保持のための神経締め講習会を開催する。小型底びき網漁業者は、技術の普及・習得に努めるとともに、パレットを用いた活魚出荷の導入を図る。 【Ⅲ 売り先・売り方を工夫する取組】 ①漁協は、県と協力して定期的にアサリの貝毒検査を実施し、安全安心なアサリを安定供給することで魚価の維持、向上を図る。 ②漁協は、「蒲郡メヒカリ」のブランド力を高めるため、市内で行われている農林水産まつりで「蒲郡メヒカリ」を販売し、周知活動を行うとともに、漁協主催の青空市等のイベントを再開する。 ③市は、市内の学校給食において、地産地消活動の一環としてメヒカリ、ニギス等の深海魚を使った献立を提供し、需要拡大を図る。 ④漁協は、イベント等において、地元で水揚げされた漁獲物を活用した料理を提供する等により、地元産魚介類の魚食普及を図る。 ⑤漁協は、「竹島アサリ」の名称を用いた商品や販売方法、販売先について引き続き検討する。また、「竹島アサリ」について市とともに市や漁協のHPで紹介して認知度向上に取り組む。 ⑥漁協は、比較的漁獲があり安価で取引される深海魚等について市場ニーズに基づく、販売方法、販売先の開拓を図る。ま
--	---

	た未利用魚に関する栄養価や調理法に関する情報を広く周知する。 【Ⅳ 製氷・貯氷施設に関する取組】 ①漁協は、製氷・貯氷施設を適切に運用・維持管理し、操業機会の確保及び魚価向上のため地域の漁業者に対して必要な給氷を行う。
漁業コスト削減のための取組	【Ⅴ 省燃油活動・省エネ機器導入】 ①全ての漁業者は、船底塗装対策事業により船底清掃、船底塗装等を定期的に行い、使用する漁具の軽量化を推進することで燃費効率を高め、燃油コストの削減を図る。 ②漁業者は、漁業近代化資金や競争力強化型機器等導入緊急対策事業等を活用して、省力化や省エネ機器の導入し、漁業コストの削減を図る。 ③漁協は、上架施設の整備を行うために、設置費用や場所、利用漁船数等漁協の現状に対する適正な施設の規模算出など、施設整備に向けて計画策定を行うとともに、県、市、漁港管理者等関係者と必要な調整を行う。
活用する支援措置等	・水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ-④、⑤、⑥） ・愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ-⑦） ・水産まつり委託料（蒲郡市）（Ⅲ-②） ・水産物地産地消事業委託料（蒲郡市）（Ⅲ-③） ・船底塗装推進事業補助金（蒲郡市）（Ⅴ-①） ・漁業近代化資金（愛知県）（Ⅴ-②） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（Ⅴ-②） ・漁業生産力強化総合対策事業（愛知県）（Ⅴ-③）

3年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比） 6.67%

漁業収入向上のための取組	【Ⅰ. 生産量を増やす取組】 ①小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者は、資源管理協定の取組を実践し、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、イワシ類等の資源の維持、増大を図る。 ②漁協は、県や市と協力して所属する小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者の資源管理協定の取組を指導する。 ③漁協は、県や市と協力して三河湾や地先漁場において、クルマエビ、ガザミ、ナマコの種苗放流を行い、資源の維持増大を図る。 ④協議会は、魚介類の産卵場、成育場となるアマモ場の造成及び保全に取り組むことにより、タイ類、カレイ類、エビ・カニ類、イカ類の水産資源の増大や漁場環境の改善を図る。
--------------	---

	⑤協議会は、害敵生物の駆除活動や被覆網等のアサリ保護対策に取り組むことにより、二枚貝類資源の維持・増大を図る。 ⑥協議会は、アサリ等二枚貝類漁場の耕耘等を行い、稚貝の着底促進、生育環境の改善を図り、資源の増大、漁獲量の安定を図る。 ⑦漁協及び採貝漁業者は、豊川河口産アサリ稚貝を採捕し、地区内の漁場に放流することにより、アサリ資源の増大を図る。 【Ⅱ 付加価値向上を図る取組】 ①実証船以外の、海水殺菌装置及びシルクアイス装置を未導入の沖合底びき網漁業者は、高鮮度漁獲物（メヒカリ、ニギス、アカムツ、アカザエビ等）の供給に向けて、導入漁船を選定し、機器導入の計画を立てる。漁協は機器導入者の増加を図る。また、出漁日数を短縮したり、陸路を利用するなどにより魚価の向上に取り組む。 ②沖合底びき網漁業者は、海水冷却装置を活用した活アカザエビについて、地元高級料理店とのタイアップなど知名度向上に向けた方策に取り組む。 ③小型機船底びき網漁業者は、漁獲物に神経締めを実施するとともにパレットを用いた活魚出荷を導入し、魚価の向上及び水揚げ金額の増加を図る。 【Ⅲ 売り先・売り方を工夫する取組】 ①漁協は、県と協力して定期的にアサリの貝毒検査を実施し、安全安心なアサリを安定供給することで魚価の維持、向上を図る。 ②漁協は、「蒲郡メヒカリ」のブランド力を高めるため、市内で行われている農林水産まつりで「蒲郡メヒカリ」を販売するとともに、漁協主催の青空市等のイベントを開催し、「蒲郡メヒカリ」を始めとする深海魚の周知活動を行う。 ③市は、市内の学校給食において、地産地消活動の一環としてメヒカリ、ニギス等の深海魚を使った献立を提供し、需要拡大を図る。 ④漁協は、イベント等において、地元で水揚げされた漁獲物を活用した料理を提供し、地元産魚介類の魚食普及を図る。 ⑤漁協は、「竹島アサリ」の名称を用いた商品を試作する。また、「竹島アサリ」について市とともに市や漁協のHPで紹介して認知度向上に取り組む。
--	--

	⑥漁協は、比較的漁獲があり安価で取引される深海魚等について、市場ニーズに基づく販売方法を試行する。また、未利用魚に関する栄養価や調理法に関する情報を広く周知する。 【Ⅳ 製氷・貯氷施設に関する取組】 ①漁協は、製氷・貯氷施設を適切に運用・維持管理し、操業機会の確保及び魚価向上のため地域の漁業者に対して必要な給氷を行う。
漁業コスト削減のための取組	【Ⅴ 省燃油活動・省エネ機器導入】 ①全ての漁業者は、船底塗装対策事業により船底清掃、船底塗装等を定期的に行い、使用する漁具の軽量化を推進することで燃費効率を高め、燃油コストの削減を図る。 ②漁業者は、漁業近代化資金や競争力強化型機器等導入緊急対策事業等を活用して、省力化や省エネ機器の導入し、漁業コストの削減を図る。 ③漁協は、上架施設の整備に向けて設計を行うとともに、令和9年度以降の整備に向けて、県、市、漁港管理者等関係者と必要な調整を行う。
活用する支援措置等	・水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ-④、⑤、⑥） ・愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ-⑦） ・水産まつり委託料（蒲郡市）（Ⅲ-②） ・水産物地産地消事業委託料（蒲郡市）（Ⅲ-③） ・船底塗装推進事業補助金（蒲郡市）（Ⅴ-①） ・漁業近代化資金（愛知県）（Ⅴ-②） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（Ⅴ-②） ・漁業生産力強化総合対策事業（愛知県）（Ⅴ-③）

4年目（令和8年度）所得向上率（基準年比）8.51%

漁業収入向上のための取組	【Ⅰ. 生産量を増やす取組】 ①小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者は、資源管理協定の取組を実践し、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、イワシ類等の資源の維持、増大を図る。 ②漁協は、県や市と協力して所属する小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者の資源管理協定等の取組を指導する。 ③漁協は、県や市と協力して三河湾や地先漁場において、クルマエビ、ガザミ、ナマコの種苗放流を行い、資源の維持増大を図る。 ④協議会は、魚介類の産卵場、成育場となるアマモ場の造成及び保全に取り組み、タイ類、カレイ類、エビ・カニ類、イカ類の水産資源の増大や漁場環境の改善を図る。
--------------	---

	⑤協議会は、害敵生物の駆除活動や被覆網等のアサリ保護対策に取り組むことにより、二枚貝類資源の維持・増大を図る。 ⑥協議会は、アサリ等二枚貝類漁場の耕耘等を行い、稚貝の着底促進、生育環境の改善を図り、資源の増大、漁獲量の安定を図る。 ⑦漁協及び採貝漁業者は、豊川河口産アサリ稚貝を採捕し、地区内の漁場に放流することにより、アサリ資源の増大を図る。 【Ⅱ 付加価値向上を図る取組】 ①実証船以外の、海水殺菌装置及びシルクアイス装置を未導入の沖合底びき網漁業者は、高鮮度漁獲物（メヒカリ、ニギス、アカムツ、アカザエビ等）の供給に向けて、海水殺菌装置、シルクアイス装置を選定漁船へ導入する。漁協は機器導入者の増加を図る。また、出漁日数を短縮したり、陸路を利用するなどにより魚価の向上に取り組む。 ②沖合底びき網漁業者は、海水冷却装置を活用した活アカザエビについて、地元高級料理店とのタイアップなど知名度向上に向けた方策に取り組むとともに、効果を把握する。 ③小型機船底びき網漁業者は、漁獲物に神経締めを実施するとともにパレットを用いた活魚出荷を行い、魚価の向上及び水揚げ金額の増加を図る。 【Ⅲ 売り先・売り方を工夫する取組】 ①漁協は、県と協力して定期的にアサリの貝毒検査を実施し、安全安心なアサリを安定供給することで魚価の維持、向上を図る。 ②漁協は、「蒲郡メヒカリ」のブランド力を高めるため、市内で行われている農林水産まつりで「蒲郡メヒカリ」を販売するとともに、漁協主催の青空市等のイベントを開催し、「蒲郡メヒカリ」を始めとする深海魚の周知活動を引き続き行う。 ③市は、市内の学校給食において、地産地消活動の一環としてメヒカリ、ニギス等の深海魚を使った献立を提供し、需要拡大を図る。 ④漁協は、イベント等において、地元で水揚げされた漁獲物を活用した料理を提供し、地元産魚介類の魚食普及を図る。 ⑤漁協は、「竹島アサリ」の名称を用いた試作品の商品化を図る。また、「竹島アサリ」について市とともに市や漁協のHPで紹介して認知度向上に取り組む。
--	---

	⑥漁協は、比較的漁獲があり安価で取引される深海魚等について、試行販売の結果について検証し、販売方法を確立する。また、未利用魚に関する栄養価や調理法に関する情報を広く周知する。 【Ⅳ 製氷・貯氷施設に関する取組】 ①漁協は、製氷・貯氷施設を適切に運用・維持管理し、操業機会の確保及び魚価向上のため地域の漁業者に対して必要な給氷を行う。
漁業コスト削減のための取組	【Ⅴ 省燃油活動・省エネ機器導入】 ①全ての漁業者は、船底塗装対策事業により船底清掃、船底塗装等を定期的に行い、使用する漁具の軽量化を推進することで燃費効率を高め、燃油コストの削減を図る。 ②漁業者は、漁業近代化資金や競争力強化型機器等導入緊急対策事業等を活用して、省力化や省エネ機器の導入し、漁業コストの削減を図る。 ③漁協は、前年度に実施した設計に従い、上架施設の整備を行う。
活用する支援措置等	・水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ-④、⑤、⑥） ・愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ-⑦） ・水産まつり委託料（蒲郡市）（Ⅲ-②） ・水産物地産地消事業委託料（蒲郡市）（Ⅲ-③） ・船底塗装推進事業補助金（蒲郡市）（Ⅴ-①） ・漁業近代化資金（愛知県）（Ⅴ-②） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（Ⅴ-②） ・漁業生産力強化総合対策事業（愛知県）（Ⅴ-③）

5年目（令和9年度）所得向上率（基準年比）10.18%

漁業収入向上のための取組	【Ⅰ. 生産量を増やす取組】 ①小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者は、資源管理協定の取組を実践し、タイ類、カレイ類、シャコ、エビ・カニ類、イカ類、イワシ類等の資源の維持、増大を図る。 ②漁協は、県や市と協力して所属する小型機船底びき網及び機船船びき網漁業者の資源管理協定の取組を指導する。 ③漁協は、県や市と協力して三河湾や地先漁場において、クルマエビ、ガザミ、ナマコの種苗放流を行い、資源の維持増大を図る。 ④協議会は、魚介類の産卵場、成育場となるアマモ場の造成及び保全に取り組み、タイ類、カレイ類、エビ・カニ類、イカ類の水産資源の増大や漁場環境の改善を図る。
--------------	---

	⑤協議会は、害敵生物の駆除活動や被覆網等のアサリ保護対策に取り組むことにより、二枚貝類資源の維持・増大を図る。 ⑥協議会は、アサリ等二枚貝類漁場の耕耘等を行い、稚貝の着底促進、生育環境の改善を図り、資源の増大、漁獲量の安定を図る。 ⑦漁協及び採貝漁業者は、豊川河口産アサリ稚貝を採捕し、地区内の漁場に放流することにより、アサリ資源の増大を図る。 【Ⅱ 付加価値向上を図る取組】 ①実証船以外の、海水殺菌装置及びシルクアイス装置を未導入の沖合底びき網漁業者は、高鮮度漁獲物（メヒカリ、ニギス、アカムツ、アカザエビ等）の供給に向けて、選定漁船への導入を進める。漁協は機器導入者の増加を図る。また、出漁日数を短縮したり、陸路を利用するなどにより魚価の向上に取り組む。 ②沖合底びき網漁業者は、海水冷却装置を活用した活アカザエビに関する、地元高級料理店とタイアップについて、知名度向上に向けた方策に取り組むとともに、効果を振り返り、今後の方策を検討する。 ③小型機船底びき網漁業者は、漁獲物に神経締めを実施するとともにパレットを用いた活魚出荷を導入し、魚価の向上及び水揚げ金額の増加を図る。 【Ⅲ 売り先・売り方を工夫する取組】 ①漁協は、県と協力して定期的にアサリの貝毒検査を実施し、安全安心なアサリを安定供給することで魚価の維持、向上を図る。 ②漁協は、「蒲郡メヒカリ」のブランド力を高めるため、市内で行われている農林水産まつりで「蒲郡メヒカリ」を販売するとともに、漁協主催の青空市等のイベントを開催し、「蒲郡メヒカリ」を始めとする深海魚の周知活動を引き続き行う。 ③市は、市内の学校給食において、地産地消活動の一環としてメヒカリ、ニギス等の深海魚を使った献立を提供し、需要拡大を図る。 ④漁協女性部は、市内で開催されるイベント等において、地元で水揚げされた漁獲物を活用した料理を提供し、地元産魚介類の魚食普及を図る。 ⑤漁協は、「竹島アサリ」の名称を用いた商品や販売方法を、試行結果をもとに確立し、販路拡大に努める。また、「竹島アサ
--	--

	り」について市とともに市や漁協の HP で紹介して認知度向上に取り組む。 ⑥漁協は、比較的漁獲があり安価で取引される深海魚等について、前年に確立した販売方法により販路の拡大に努め、水揚げ金額の増加を図る。 【Ⅳ 製氷・貯氷施設に関する取組】 ①漁協は、製氷・貯氷施設を適切に運用・維持管理し、操業機会の確保及び魚価向上のため地域の漁業者に対して必要な給氷を行う。
漁業コスト削減のための取組	【Ⅴ 省燃油活動・省エネ機器導入】 ①全ての漁業者は、船底塗装対策事業により船底清掃、船底塗装等を定期的に行い、使用する漁具の軽量化を推進することで燃費効率を高め、燃油コストの削減を図る。 ②漁業者は、漁業近代化資金や競争力強化型機器等導入緊急対策事業等を活用して、省力化や省エネ機器の導入し、漁業コストの削減を図る。 ③漁協は、新たな上架施設を適切に運用し、全ての漁業者は船底塗装等を計画的に実施する。
活用する支援措置等	・水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ-④、⑤、⑥） ・愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ-⑦） ・水産まつり委託料（蒲安市）（Ⅲ-②） ・水産物地産地消事業委託料（蒲安市）（Ⅲ-③） ・船底塗装推進事業補助金（蒲安市）（Ⅴ-①） ・漁業近代化資金（愛知県）（Ⅴ-②） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（Ⅴ-②） ・漁業生産力強化総合対策事業（愛知県）（Ⅴ-③）

（５）関係機関との連携

取組の効果が十分発現できるよう、行政機関（愛知県農業水産局水産課、愛知県東三河農林水産事務所水産課、蒲安市）、研究機関（愛知県水産試験場）、愛知県漁業協同組合連合会、愛知県信用漁業協同組合連合会及び蒲安市漁場環境保全協議会などと連携を図り、取組を着実に実施する。

４ 目標

（１）所得目標

総所得額の向上 10% 以上	基準年	平成 29 年度～令和 3 年度の 5 中 3 平均：
	目標年	令和 9 年

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

メヒカリ平均単価の向上	基準年	直近 5 中 3 平均 : 3 1 9 円/kg
	目標年	令和 9 年 : 3 4 5 円/kg

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

蒲郡地区は愛知県のメヒカリ水揚げ量の約 9 5 % を占めるものの、需給バランスが安定しており、単価の変動が比較的少ない。今後 5 年間の取組で高鮮度化の割合を増加させるとともに、PR イベント等を活用しブランド化を図ることにより約 8 % の単価の向上を目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産多面的機能発揮対策事業	干潟や藻場等の地域資源の機能維持・回復を図る取組に対して支援
競争力強化型機器導入緊急対策事業	生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入支援
漁業近代化資金 (愛知県)	漁業者等の資本装備の高度化及び経営の近代化を推進するために必要な資金を長期かつ低利に融資

漁業生産力強化総合対策事業（愛知県）	漁業・漁村の活性化に資する施設等の整備の支援 共同利用施設等の整備・修繕等
愛知県水産業振興基金助成事業	アサリ稚貝の移植放流に係る取組に対して助成
水産まつり委託料（蒲安市）	水産業の振興と魚食普及を目的に開催される水産まつりへの参画に対して支援
水産物地産地消事業委託料（蒲安市）	地元の旬の魚の周知と魚料理の普及を図る取組に対して支援
船底塗装推進事業補助金（蒲安市）	経営改善のため、省エネ対策の推進、燃油削減を目的とした船底塗装の取組に対して助成